

うわじま∞あいだいプロジェクト全体報告

令和5年12月23日の第五回うわじま∞あいだいプロジェクトでの成果報告をもって、今年度のうわじま∞あいだいプロジェクトの全日程が終了しました。今回のプロジェクトでの活動や学びを振り返ってきたいと思います。

プロジェクト概要

本プロジェクトは、宇和島市中央公民館「ホリバタ」、喜佐方公民館、愛媛大学で行う、中高生との課題解決プロジェクトです。宇和島市に住む中高生とともに、公民館とは何か、喜佐方地域に必要なものは何かを子ども基本法についての学習や地域での聞き取り調査などを通して考え提案するという活動を行いました。

プロジェクトの内容

第一回：宇和島市中央公民館（ホリバタ）にて



ゲームなどで中高生と大学生の交流を行いました



これからの活動のために「公民館」や「喜佐方地区」などについて学びました

これからの学びに向けて見通しを持つことができ、仲を深めた仲間とともに、プロジェクトへの参加意欲を高めることができた1日でした

第二回：愛媛大学（ひめテラス）



前回の内容やアンケートを踏まえて聞き取り調査の内容について話し合いました

浦和大学の林大介先生に「子ども基本法」について講義をしていただきました



子どもにも4つの権利が保障される必要があり、子どもであっても主張することの大切さを学ぶことができました

第三回：喜佐方公民館



JA選果場の方に喜佐方のみかん産業のことについて教えていただきました

喜佐方地域の方々から地域のお話をたくさんしていただきました



「みんなの居場所」や「楽しく賑やかな場所」など地域の方の声を踏まえてよりよい公民館にしていこうとするための協議を行うことができました

第四回：喜佐方公民館「まちかどカフェ」



カフェやイベントに参加しながら地域の方から公民館に対する思いを聞きました

地域の方の公民館への思いを形にするために何が必要なのかグループで話し合いました

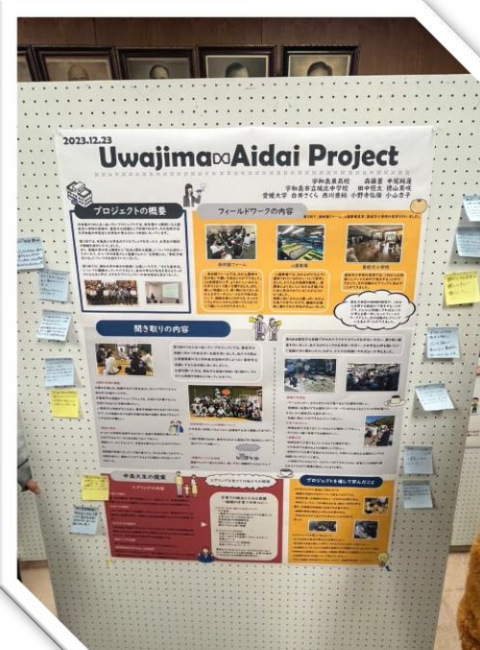


地域の参加者の方々からは「来年もまたやってほしい」という声をいただき、私たち中高生や大学生も喜佐方地域の温かさを感じることができました

第五回：JAえひめ南喜佐方支所



これまでの学習・活動から考えた持続可能な喜佐方地域を実現できる公民館の姿を5つのグループに分かれて発表しました



宇和島市政にかかわる関係者の方々から「皆さんの意見が取り入れられるでしょう」といったお声をいただき、自分たちのこれまでの活動に意味を感じられるものとなりました

本プロジェクトの振り返り

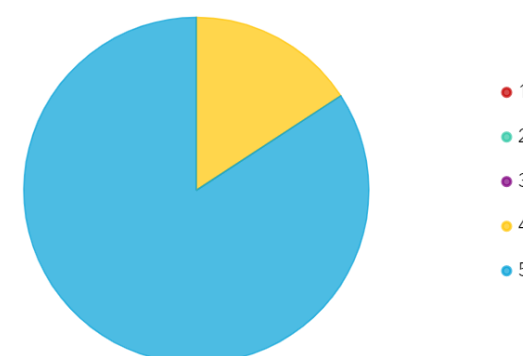
第5回の活動後に行ったアンケート結果から本プロジェクトの振り返りを行いました。

本プロジェクトの成果

Q4 本プロジェクトを通して、他者（初めて会う地域の人など）と関わることに意味を感じるようになりましたか

- ・私たちと年齢も住む場所も異なる人々と意見を交えてみて、新しい見方を知ることが出来て新鮮だった
- ・多世代の方と関わることを通して自分にはない視点や考えを知ることができたり、自分の考えをよりアップデートできたりすることができた

→地域をよりよくするためには他者との交流を行うことが必要であるということを実感することができた



本プロジェクトを通して、他者（初めて会う地域の人など）と関わることに意味を感じるようになりましたか

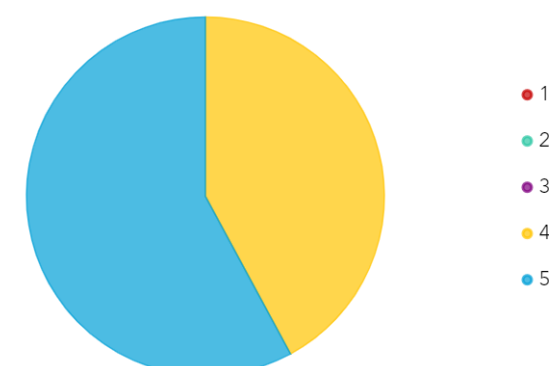
Q9 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい（Q7）、私が参加することによって、変えてほしい社会現象が少しは変えられるかもしれない（Q8）と考えた理由を教えてください

- ・自分たちが参加することで、地域の活性化に繋がることや、他の世代との関わりが、自分達が思う以上に人のためになっていることを実感することができた
- ・今日の教育長の話や喜佐方の話を聞いて実現可能性を感じたから

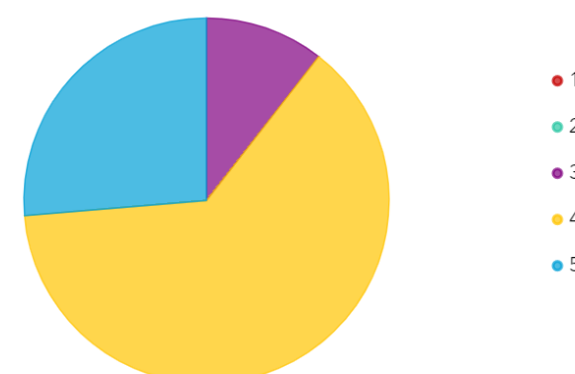
→喜佐方の方々との意見交換や実際に地域行政を担う方々に報告を行うという活動から地域活性化の助けとなっているという実感を得ることができ、積極的に活動に参加することができた。

- ・第2回の講義で聞いた、生徒の意見から学校が変わった例が私の学校にも当てはまるな、と思い、そう考えると変えたいところも多くあり、それは自分から意見を出すことで変えられるかもしれないと思えた

→今回の活動だけでなく、より身近な問題にもひきつけてさらに活動を行いたいという意見も見られる



社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい

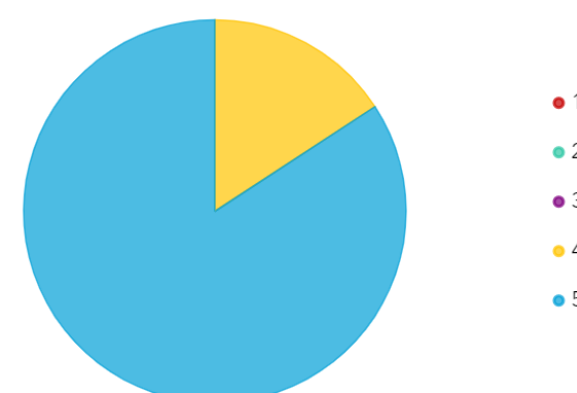


私が参加することによって、変えてほしい社会現象が少しは変えられるかもしれない

Q11 本プロジェクト全体の満足度（Q10）のように考える理由を教えてください。

- ・学校で似たような活動はした事がありますが、大学生や中学生の助けがあったとはいえ、自分自身で課題をみつけ、解決策を提案するという活動に向き合って、達成感を味わうことが出来ました。今までこのような活動に消極的だった自分でも、積極的に行動ができたと思います
- ・学校では、かたくりいしことを学ぶけど、今回は実践的で良かったと思う

→普段交流を持たない方々との交流、公民館活動への参加など普段学校では行わない活動・学びを行うことができ、自己有用感や達成感を感じることができた



本プロジェクト全体の満足度

改善点

・ポスターセッションで疑問点に回答する機会がなかったので、設けてほしい。その疑問点をもとに改善できていれば、もっといい発表ができていたのではないのでしょうか

→グループごとでの意見交換・中高生や大学生同士の意見交流などを行うことができればより多様な意見・視点に気づくことができるのではないか

終わりに

今回のうわじま∞あいだいプロジェクトでは、前回よりもより地域に焦点を当てて活動を行うことができ、喜佐方地区の方々の温かさ、喜佐方地区の良さにたくさん触れることができました。地域に私たちのような若い世代がかかわっていくことや身近な社会をより深く知ることの重要性を様々な活動から学ぶことができました。全5回という短い間でしたが、たくさんの学びを得られるプロジェクトだったと思います。

宇和島市の関係者の皆様、喜佐方地区の皆様、愛媛大学の関係者の皆様、素晴らしい活動の場を提供していただきありがとうございました。

